

長澤榮治先生
業績一覧

【著書】

- 1984 『エジプトの農業——現状と開発の課題』（佐藤一郎・長田満江との共著）国際農林業協力協会〔95頁〕
- 1989 『文献解題 東アラブ近現代史研究』（加藤博他との共著）アジア経済研究所〔134頁〕
- 1996 『歴史と文化 エジプト』（鈴木八司他との共著）新潮社〔385頁〕
- 1997 『エジプト農業労働力の動態』（Discussion Paper No. D97-19）一橋大学経済研究所中核的拠点形成プロジェクト〔45頁〕
- 2002 『西アジア史 I アラブ』（佐藤次高他との共著）〈新版世界各国史 8〉山川出版社〔528頁〕
- 2009 *Modern Egypt through Japanese Eyes, A Study on Intellectual and Socio-economic Aspects of Egyptian Nationalism*, Cairo, Merit Publishing House〔410p〕
- 2012 『エジプト革命 アラブ世界変動の行方』（平凡社新書）平凡社〔262頁〕
- 2012 『アラブ革命の遺産 エジプトのユダヤ系マルクス主義者とシオニズム』（東洋文化研究所紀要別冊）平凡社〔606頁〕
- 2013 『エジプトの自画像 ナイルの思想と地域研究』（東洋文化研究所叢刊第27輯）平凡社〔349頁〕
- 2019 『近代エジプト家族の社会史』東洋文化研究所叢刊第32輯）東京大学出版会〔518頁〕

【編著】

- 1990 『東アラブ社会変容の構図』アジア経済研究所〔337頁〕
- 1991 『中東 政治・社会』〈地域研究シリーズ 10〉アジア経済研究所〔282頁〕
- 2000 『地域への展望』（木村靖二との共編著）〈地域の世界史 12〉山川出版社〔301頁〕
- 2003 『中東諸国における政治情勢及び経済等の現状と今後の展望』富士総合研究所（財務省委託研究報告書）〔166頁〕
- 2005 『中東諸国における政治情勢及び経済等の現状と今後の展望』みずほ情報総合研究所（財務省委託研究報告書）〔138頁〕
- 2006 『中東諸国における政治情勢及び経済等の現状と今後の展望』みずほ情報総合研究所（財務省委託研究報告書）〔115頁〕
- 2006 *A Guide to Parliamentary Records in Monarchical Egypt*. (池田美佐子との共編) Tokyo: the Toyo Bunko〔179p〕
- 2014 『グローバル戦略課題としての中東——2030年の見通しと対応——』日本国際問題研究所〔144頁〕
- 2014 『グローバル戦略課題としての中東——2030年の見通しと対応——』日本国際問題研究所

[236 頁]

- 2016 『中東と日本の針路——「安保法制」がもたらすもの』(栗田禎子との共編著) 大月書店 [259 頁]
- 2016 『現代中東を読み解く アラブ革命後の政治秩序とイスラーム』(後藤晃との共編著) 明石書店 [266 頁]
- 2017 『イスラーム・ジェンダー学の構築に向けて』日本学術振興会科学研究費基盤研究 (A) イスラーム・ジェンダー学の構築のための基礎的総合的研究 (IG 科研) [189 頁]

【翻訳】

- 1976 ロジャー・オウエン「イギリスの現代中東研究」『中東総合研究』5 (英語) [58-64 頁]
- 1980 アムル・モヘデッィーン／イリヤ・F・ハーリク『アラブ諸国のマンパワー』アジア経済研究所 (堀侑他との共訳, 英語) [213 頁]
- 1981 ムハンマド・アブデル・カディール・ハーテム『エジプト——その将来・現在・未来——』帝国書院 (奴田原睦明・藤田進との共訳, アラビア語) [172 頁]
- 1991 アリー・バラカート『近代エジプトにおける農民反乱——近代エジプト社会史研究入門——』アジア経済研究所, M.E.S.Series No. 30 (加藤博との共訳, アラビア語) [200 頁]
- 1995 サイド・オウエイス『私が背負った歴史(ひとつの事例研究)』(部分訳・解説)『中東の民族と民族主義——資料と分析視角——』(アジア経済研究所所内資料地域研究部 No. 6-3 (アラビア語) [69-155 頁])
- 1996 サイド・オウエイス『私が背負った歴史(ひとつの事例研究)』(部分訳・解説)『イスラーム世界』46 (アラビア語) [41-112 頁]

【主要論文】

- 1979 「エジプトの移動労働者」『アジア経済』21-11 [57-75 頁]
- 1984 「エジプトの農業——現状と開発の課題——」『国際農林業協力』6-4 [2-9 頁]
- 1985 「エジプト——食糧補助金と都市貧困層」宮治一雄編『中東の開発と統合』アジア経済研究所 [114-136 頁]
- 1986 「エジプトの農業労働力と労働移動」鈴木弘明編『エジプト経済と労働移動』アジア経済研究所 [93-149 頁]
- 1986 「エジプト——キーラートとフェッダーン」小島麗逸・大岩川嫩編『「はかり」と「くらし」——第三世界の度量衡——』アジア経済研究所 [151-156 頁]
- 1986 「アサビーヤ概念をめぐる」『アジア研ニュース』60 [15 頁]
- 1987 「エジプトにおける家族関係の近代化」『現代の中東』2 [14-32 頁]
- 1987 「エジプト——「ナイルの賜物」の行方」藤崎成昭編『発展途上国の環境問題——豊かさの代償・貧しさの病』アジア経済研究所 [276-281 頁]

- 1987 「エジプトのコプト暦」小島麗逸・大岩川嫩編『「こよみ」と「くらし」——第三世界の労働リズム——』アジア経済研究所〔149-155頁〕
- 1987 「西アジア・近現代」(1987年の歴史学会——回顧と展望——)『史学雑誌』97-5〔315-317頁〕
- 1988 「エジプトの食料生産と食料消費」『世界食料事情と国際農業協力に関する調査研究報告書 下巻 第三世界』食品需給研究センター〔5-11頁〕
- 1989 「ムスリム社会運動」研究のために」小杉泰編『ムスリム同胞団——研究の課題と展望』国際大学中東地域研究科〔69-83頁〕
- 1990 「エジプト資本主義論争の構図と背景」長沢栄治編『東アラブ社会変容の構図』アジア経済研究所〔102-257頁〕
- 1990 「エジプト2——帰国労働者と雇用問題の悪化」『アジ研緊急レポート「湾岸危機が途上国経済に与える影響」』アジア経済研究所〔74-77頁〕
- 1990 「アスワン・ハイダムの建造が環境に与えた影響について」『環境情報科学』19-3〔6-12頁〕
- 1991 「世界綿業の展開とエジプト農村の労働力問題」『世界の構造化』〈シリーズ世界史を問う10〉岩波書店〔105-132頁〕
- 1991 「都市化と社会的連帯——上エジプト農村とアレキサンドリア市港湾労働者社会との事例比較」加納弘勝編『中東の民衆と社会意識』アジア経済研究所〔211-262頁〕
- 1992 「エジプト綿花経済における「不自由な賃労働」——イズバ型労働制度をめぐる——」『歴史学研究』638〔110-121頁〕
- 1992 “An Introductory Note on Contemporary Arabic Thought”, *Mediterranean World*, XIII (The Mediterranean Studies Group Hitotsubashi University)〔pp. 65-71〕
- 1993 「現代アラブ思想研究のための覚書——思想的危機と第2のナフダ——」伊能武次編『中東諸国における政治経済変動の諸相』アジア経済研究所〔3-46頁〕
- 1993 「現代アラブ思想と民衆的遺産」『一橋論叢』110-4〔537-555頁〕
- 1993 「アラブ——パレスチナ人とアメリカ・インディアン」『アジ研ニュース』145〔28-31頁〕
- 1993 「エジプト——ムハッガバート現象」宮治一雄・大岩川嫩編『「きもの」と「くらし」——第三世界の日常着——』アジア経済研究所〔119-123頁〕
- 1994 「近代エジプトにおける灌漑制度の展開」堀井健三編『アジア灌漑制度比較研究論』大東文化大学現代アジア研究所〔245-268頁〕
- 1994 “A Note on the Development of Water Law in Modern Egypt.”堀井健三編『アジア灌漑制度比較研究論』大東文化大学現代アジア研究所〔pp. 269-277〕
- 1994 「「石油の富」と移民労働——中東産油国への労働力移動」森田桐郎編『国際労働移動と外国人労働者』同文館〔93-135頁〕
- 1994 「近代エジプトの村長職をめぐる権力関係」伊能武次編『中東における国家と権力構造』アジア経済研究所〔147-214頁〕

- 1994 「エジプト——「家の名」をめぐって」松本脩作・大岩川嫩編『第三世界の姓名——人の名前と文化』明石書店〔222-227頁〕
- 1994 “Book Review: Yuzo Itagaki, *The Present in History and Areal Science: A View of the Contemporary Middle East, Nilo-Ethiopian Studies 2*〔pp. 45-46〕
- 1995 “‘An Autobiography as Case Study’ of an Egyptian Sociologist: Sayyid ‘Uways, *The History which I Carry on My Back,*” *Mediterranean World*, XIV〔pp. 71-76〕
- 1995 “Book Review: Hiroshi KATO, *The Private Landownership and the Egyptian Society,*”『日本中東学会年報』10〔pp. 223-230〕
- 1995 「マシュレク（近現代 エジプト・スーダン）」板垣雄三監修／三浦徹・東長靖・黒木英充編『イスラーム研究ハンドブック』栄光教育文化研究所〔106-11頁〕
- 1995 「エジプト」（日本における発展途上地域研究1986～94・地域編・中東）『アジア経済』36-6・7〔256-261頁〕
- 1996 「エジプト——灌漑制度改革の新段階」堀井健三・篠田隆・多田博一編『アジアの灌漑制度——水利用の効率化に向けて』新評論〔419-459頁〕
- 1995 「書評 加藤博著『私的土地所有権とエジプト社会』」『アジア経済』36-10〔80-84頁〕
- 1995 「エジプト——報道の自由化をめぐって」アジア経済研究所編『第三世界のマスメディア』明石書店〔175-180頁〕
- 1996 “Migration and Regional Identity in the Middle East,” *Conference Proceedings Asia in the Twenty-First Century Towards a New Framework of Asian Studies*, Institute of Oriental Culture, University of Tokyo〔pp. 88-97〕
- 1996 「エジプト人ユダヤ教徒とマルクス主義運動——アハマド・サーディク・サアド研究(1)——」『一橋論叢』116-4〔726-747頁〕
- 1996 「あるエジプト知識人による民衆的思想への接近——アハマド・サーディク・サアド研究(2)——」『上智アジア学』14〔75-85頁〕
- 1996 “The Middle East: Politics and Society,” Hiroichi YAMAGUCHI and Hiroshi SATO eds., *Understanding the Developing World, Thirty-five Years of Area Studies at the IDE*, Institute of Developing Economies〔pp. 133-146〕
- 1996 「イスラーム運動とエジプト農村」日本イスラム協会編『エジプトの原理主義運動 現状と分析』〔87-108頁〕
- 1996 「書評 サイド・オウエイシ『私が背負った歴史(ひとつの事例研究)』」『イスラム世界』46〔34-40頁〕
- 1997 「エジプトの中央集権性——ガマル・ヒムダーン著『エジプトの個性』をめぐって」後藤晃・鈴木均編『中東における中央権力と地域性——イランとエジプト——』アジア経済研究所〔59-119頁〕
- 1997 「エジプト」『いまなぜ「開発と文化」なのか』〈岩波講座「開発と文化」I〉「開発概念の諸

- 相」岩波書店〔258-260頁〕
- 1997 「エジプト」日本国際問題研究所（小杉泰編）『中東諸国における民主化と政党・政治組織の研究』〔91-96頁〕
- 1997 「エジプト——「ナセルのエジプト」は変わったか」日本国際問題研究所（小杉泰編）『中東諸国の政治経済構造と政策決定の基本条件』〔18-32頁〕
- 1998 “The 1919 Revolution as Seen by an Egyptian Child,” *Mediterranean World*, XV〔pp. 87-98〕
- 1998 「中東の開発体制——エジプトにおけるエタティズムの形成」東京大学社会科学研究所（末廣昭編）『開発主義』〈20世紀システム4〉東京大学出版会〔207-238頁〕
- 1998 「ナイルをさかのぼる——オムドルマンで会った人々」一橋大学地中海研究会『地中海という広場』淡交社〔48-53頁〕
- 1998 「イスラム世界の拡がり」と法秩序——加藤報告に寄せて」『歴史創造の事理と法理』（比較史研究——思想・制度・社会7）〔112-118頁〕
- 1998 「アラブ世界を移動する労働力の波——労働市場」大塚和夫編『アジア読本 アラブ』河出書房新社〔192-198頁〕
- 1999 「少年が見たエジプト 1919年革命」栗本英世・井野瀬久美恵編『植民地体験 人類学と歴史学からのアプローチ』人文書院〔243-262頁〕
- 2000 「アタバの娘事件を読む 現代エジプト社会における性の象徴性」『地域研究論集』3-2〔37-62頁〕
- 2000 「アラブ主義の現在」木村靖二・長沢栄治編『地域への展望』山川出版社〔14-52頁〕
- 2000 「現代エジプトの社会問題とNGO」『イスラム世界』54〔56-70頁〕
- 2001 「現代メディアとイスラーム」東京大学東洋文化研究所編『アジアを知れば世界が見える』小学館〔72-82頁〕
- 2001 “Japanese Arab Studies After the World War II,” (Essays in History and Middle East Studies in Honor of Dr. Kong-Jo Yoo) *Kyung Hee Sahak* (The Historical Review of Kyung Hee University) 23〔pp. 999-1029〕
- 2002 “Crises of Global Modernization and Radical Social Movements: Japan and Egypt,” *Social Movements and Political Dynamism in the Middle East: In the Era of Globalization* (International Workshop Series No. 4), Area Studies Division II, Institute of Developing Economies〔pp. 101-120〕
- 2002 「現代アラブの国家と社会」『西アジア史 I アラブ』山川出版社〔452-528頁〕
- 2002 “Social Scientific Research on the Middle East in Japan: Focusing on Research Activities at the Institute of Developing Economies,” (Special Issue: Middle Eastern and Islamic Studies in Japan) 『日本中東学会年報』17-2〔pp. 61-92〕
- 2002 「書評 臼杵陽著『イスラムの近代を読み直す』」『民博通信』98〔25頁〕
- 2003 「地域の思想を知る——エジプトの地理学者ガマール・ヒムダーンの世界」東京大学東洋文化研究所『アジア学の将来像』東京大学出版会〔201-227頁〕

- 2003 「書評 加藤博著『イスラム世界論』、『社会経済史学』69-1〔103-105頁〕
- 2003 「エジプト知識人と文化的重層性——ガマール・ヒムダーン著『エジプトの個性』をめぐって」松原正毅・後藤明編『西アジア社会の重層的構造』(JCAS 連携研究成果報告) 国立民族学博物館地域研究企画交流センター〔79-104頁〕
- 2003 「トマホークでイラクは民主化するか」『現代思想』31-5〔80-85頁〕
- 2003 「最古の図書館とこれからの図書館」『アジア研 ワールドトレンド』90〔4-5頁〕
- 2003 「エジプト～大統領後継問題と政治経済改革の展望」『中東諸国における政治情勢及び経済等の現状と今後の展望』富士総合研究所〔財務省委託研究報告書〕〔116-127頁〕
- 2004 「アラブ共産主義者の受難」私市正年・栗田禎子編『イスラーム地域の民衆運動と民主化』(イスラーム地域研究叢書3) 東京大学出版会〔127-150頁〕
- 2004 “A Jewish Egyptian Marxist Intellectual and his Inquiry in to the Popular Heritage,” *The Memoir of the Toyo Bunko* 62〔pp. 81-100〕
- 2004 「中東における民主主義 エジプトの民主化と経済改革をめぐって」『地域研究』6-1〔142-145頁〕
- 2004 「二人のアラビスト」『経友』160〔115-119頁〕
- 2005 「イラク問題と中東諸国の情勢」『中東諸国における政治情勢及び経済等の現状と今後の展望』みずほ情報総合研究所〔財務省委託研究報告書〕序章〔21-31頁〕
- 2005 「中東地域システムと国際社会の関与」『中東諸国における政治情勢及び経済等の現状と今後の展望』みずほ情報総合研究所〔財務省委託研究報告書〕終章〔112-124頁〕
- 2005 「アジア研究情報 Gateway」への招待」『明日の東洋学』11〔2-4頁〕
- 2005 「新聞産業(イスラムの)」『歴史学事典』第13巻「所有と生産」弘文堂〔324-325頁〕
- 2005 「書評と紹介: 三浦徹・岸本美緒・関本照夫編『比較史のアジア——所有・市場・公正——』」『イスラム世界』65〔87-93頁〕
- 2006 “Inventing the Geography of Egyptian Nationalism (Wataniya): A Review of Gamal Hamdan’s The Personality of Egypt and His Personal History,” *Mediterranean World* XVIII〔pp. 271-318〕
- 2006 「最近の中東情勢と今後の改革の行方」『中東諸国における政治情勢及び経済等の現状と今後の展望』みずほ情報総合研究所〔財務省委託研究報告書〕終章〔84-106頁〕
- 2007 「中東を見る視点 エジプトにおける改革の展望, パレスチナ問題の行方」中東協力センター『中東地域等との総合的な関係強化の在り方に関する調査』〔123-55頁〕
- 2007 「近代エジプトの国家と社会」池谷和信ほか編『アフリカ1: 総説, イスラームアフリカ, エチオピア』(「新世界地理——大地と人間の物語」第11巻) 朝倉書店〔319-32頁〕
- 2007 「門戸開放政策後エジプトの「軟らかい国家」と都市の社会不安と社会運動」『公共研究』(千葉大学公共研究センター) 4-3〔44-46頁〕
- 2007 「書評 横田貴之著『現代エジプトにおけるイスラームと大衆運動』」『イスラーム世界研究』1-1〔244-47頁〕

- 2008 「経済改革の歴史的経緯」山田俊一編『現代エジプトの政治と経済』アジア経済研究所〔89-114頁〕
- 2008 “Urban Unrest and Social Movements under the ‘Soft State’ after Introduction of the Open-Door Policy in Egypt,” *International Journal of Public Affairs* (Chiba University) 4〔pp. 43-74〕
- 2008 “Historical Contexts of Economic Reform in Egypt” *Mediterranean World* XVIII〔pp. 57-77〕
- 2008 「マシュレク」小杉泰・林佳世子・東長靖編『イスラーム世界研究マニュアル』名古屋大学出版会〔218-225頁〕
- 2008 「ナショナリズム」小杉泰・林佳世子・東長靖編『イスラーム世界研究マニュアル』名古屋大学出版会〔375-379頁〕
- 2010 「包囲された者たちの声」『詩人会議』48-1〔30-32頁〕
- 2010 「エジプトの西部沙漠を訪ねて」『イスラーム地域研究ジャーナル』2〔3-12頁〕
- 2010 “Rashda: System of Irrigation and Cultivation in a Village in Dakhla Oasis,” *Mediterranean World* XX (加藤博他と共著)〔pp. 1-46〕
- 2010 「書評：岩崎えり奈著『変革期のエジプト社会——マイグレーション・就業・貧困——』」『アジア経済』51-2〔59-61頁〕
- 2010 「第一次世界大戦中のイギリスの秘密外交」『歴史と地理 世界史の研究』225 (通巻 639)〔47-49頁〕
- 2011 「エジプト第二共和制への道は敷かれたか」『現代思想』39-4〔94-99頁〕
- 2011 「エジプト1月25日革命は何を目指すか」水谷周編『アラブ民衆革命を考える』国書刊行会〔98-135頁〕
- 2011 「二つのエジプト革命」『国際問題』605〔19-28頁〕
- 2011 「アラブ革命——体制の倒れ方、延命の仕掛け」[Asahi 中東マガジン]「アラブを見る眼」1〔2011年9月16日配信〕
- 2011 「エジプト1月25日革命を考える——「腐敗」をキーワードにして——」『中東研究』511〔39-47頁〕
- 2011 「カイロの革命後の風景——「浅草」Wホテルにて」[Asahi 中東マガジン]「アラブを見る眼」2〔2011年10月10日配信〕
- 2011 「エジプト革命後の風景とナセルの遺産」[Asahi 中東マガジン]「アラブを見る眼」3〔2011年11月14日配信〕
- 2012 「門戸開放期エジプトの国家と社会」柳沢悠・栗田禎子編『持続可能な福祉社会へ：公共性の視座から (第四巻アジア・中東)』勁草書房〔239-68頁〕
- 2012 “Comparing Two Egyptian Revolutions: 1952 vs. 2011,” *Mediterranean World* XXI〔pp. 267-81〕
- 2012 「エジプト選挙をめぐる風景から見える社会の変化」[Asahi 中東マガジン]「アラブを見る眼」4〔2012年1月23日配信〕
- 2012 「エジプト：米民主化支援 NGO 事件の背後にある旧体制」[Asahi 中東マガジン]「アラブを

- 見る眼」5〔2012年3月12日配信〕
- 2012 「エジプト革命と世界人権宣言」〔Asahi 中東マガジン〕「アラブを見る眼」6〔2012年5月15日配信〕
- 2012 「サラディンの鷹の行方～エジプト大統領選挙と軍の引き際」〔Asahi 中東マガジン〕「アラブを見る眼」7〔2012年6月29日配信〕
- 2012 「アラブに王様の多い理由——アラブ革命と王制国家の将来」〔Asahi 中東マガジン〕「アラブを見る眼」8〔2012年7月31日配信〕
- 2012 「エジプト農民運動の聖地を訪ねて」〔Asahi 中東マガジン〕「アラブを見る眼」9〔2012年10月9日配信〕
- 2012 「アラブ革命の構想力——グローバル化と社会運動——」『歴史学研究』898〔12–20頁〕
- 2012 「大統領選後のエジプト」『学会報』897〔27–31頁〕
- 2012 「アラブ・中東・イスラームはなぜ日本人に分かりにくいのか」〔Asahi 中東マガジン〕「アラブを見る眼」11〔2012年11月20日配信〕
- 2012 「革命を引き継ぐ者たち——民衆蜂起を支える学生運動——」鈴木恵美編『現代エジプトを知る60章』明石書店〔130–34頁〕
- 2102 「2つのナショナリズム——ワタニーヤとカウミーヤ——」鈴木恵美編『現代エジプトを知る60章』明石書店〔88–91頁〕
- 2012 「生命の絆を結ぶ大河——ナイル川——」鈴木恵美編『現代エジプトを知る60章』明石書店〔34–37頁〕
- 2013 “Historical Dynamism of the Arab Revolution,” in Hitoshi Suzuki (ed.), *The Middle East Turmoil and Japanese Response —For a Sustainable Regional Peacekeeping System—*, Institute of Developing Economies〔pp. 104–22〕
- 2013 「アラブ革命と地域研究——特集I「中東から変わる世界」を読んで」『地域研究』13-1〔203–07頁〕
- 2013 「革命とセクハラ——エジプト映画『678』をめぐって」『地域研究』13-2〔399–404頁〕
- 2013 「ナセル——アラブ世界を創った人——」松本弘編『現代アラブを知るための56章』明石書店〔127–130頁〕
- 2013 「エジプト革命から2年経過とその未来」〔Asahi 中東マガジン〕「アラブを見る眼」11〔2013年4月2日配信〕
- 2013 「革命と謀反～7月3日「政変」を考える」〔Asahi 中東マガジン〕「アラブを見る眼」12〔2013年8月13日配信〕
- 2013 「地域研究における私的なものと公的なもの——中東研究の場合——」『学術の動向』18-7〔67–71頁〕
- 2013 「アラブ革命をめぐる研究文献の紹介」『歴史と地理 世界史の研究』（山川出版社）666〔35–38頁〕

- 2013 「アラブ革命を見る目——政変後のエジプトを考える」『市民の意見』140〔24-25頁〕
- 2013 「エジプトに彷徨う「ナセルの亡霊」——7月3日が突きつけた課題」『世界』849〔243-247頁〕
- 2013 「エジプト革命の課題——アラブ革命の展開の中で」『現代思想』47-17〔190-195頁〕
- 2014 「地域としての中東とシナリオプランニング」長沢栄治編『グローバル戦略課題としての中東——2030年の見通しと対応——』日本国際問題研究所〔1-15頁〕
- 2014 「エジプト革命の現在——反動の暗雲の下で」『市民の意見』143〔24-25頁〕
- 2014 「エジプト革命3周年を前にして 革命に第四ラウンドはあるか」[Asahi 中東マガジン]「アラブを見る眼」13〔2014年1月14日配信〕
- 2014 「鈴木登さんのいないカイロ——エジプト滞在記(1)」[Asahi 中東マガジン]「アラブを見る眼」14〔2014年4月15日配信〕
- 2014 「「洪水の後」のアレキサンドリア——エジプト滞在記(2)」[Asahi 中東マガジン]「アラブを見る眼」15〔2014年5月2日配信〕
- 2014 「新大統領選出を前にして——2014年3月エジプト滞在記(3)」[Asahi 中東マガジン]「アラブを見る眼」16〔2014年5月25日配信〕
- 2014 「国民国家とカリフ制——ラシード・リダーの「予言」」[Asahi 中東マガジン]「アラブを見る眼」17〔2014年8月5日配信〕
- 2015 「書評：栗田禎子著『中東革命のゆくえ 現代史のなかの中東・世界・日本』」『経済』234〔136-7頁〕
- 2015 「序章」長沢栄治編『グローバル戦略課題としての中東——2030年の見通しと対応——』日本国際問題研究所〔1-7頁〕
- 2015 「まえがき」(第I部 領域国家と国民統合の将来)長沢栄治編『グローバル戦略課題としての中東——2030年の見通しと対応——』日本国際問題研究所〔9-21頁〕
- 2015 「水資源」(コラム)長沢栄治編『グローバル戦略課題としての中東——2030年の見通しと対応——』日本国際問題研究所〔156頁〕
- 2015 「難民問題」(コラム)長沢栄治編『グローバル戦略課題としての中東——2030年の見通しと対応——』日本国際問題研究所〔174頁〕
- 2015 「日本の中東外交への提言」(貫井万里との共著)長沢栄治編『グローバル戦略課題としての中東——2030年の見通しと対応——』日本国際問題研究所〔227-236頁〕
- 2015 「「7月3日体制」下のエジプト」『石油・天然ガスレビュー』49-2〔1-16頁〕
- 2015 「アズハルと2011年エジプト革命」『ODYSSEUS 地域文化研究紀要』(東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻)別冊2〔2014年〕〔59-84頁〕
- 2015 「革命から四年後のエジプト」『小日本』23〔16-18頁〕
- 2015 “ta’ammulāt ḥawla al-takḥīṭ li-sīnārīyūhāt muḥtamala fī al-sharq al-awsaṭ (Some Reflections on Scenario Planning for the Middle East)” (in Arabic) *Mediterranean World*, XXII〔pp. 169-82〕

- تأملات حول التخطيط لسيناريوهات محتملة في الشرق الأوسط
- 2015 “mustaqbal anzima mā ba‘d al-isti‘mār fī al-waṭan al-‘arabī (The Future of Post-Colonial Regimes in the Arab World)” (in Arabic) *Idāfāt* (Bulletin of the Arab Association of Sociology) 31–32, [pp. 134–40]
- إضافات , مستقبل أنظمة ما بعد الاستعمار في الوطن العربي
- 2016 「ナクバ〈以後〉を生きる 難民とパレスチナ問題」川喜田敦子・西芳実編『歴史としてのレジリエンス』(災害対応の地域研究第4巻) [177–219頁]
- 2016 “Henri Curiel: A Jewish Egyptian Dedicated to Peace and Socialism,” *Mediterranean Review* (Institute of Mediterranean Studies) 9–1 [pp. 77–96]
- 2016 「ラフィーク・シャーミーの闇——シリアの悲劇とメルヘンの世界」『詩人会議』55–1 [86–88頁]
- 2016 「書評: 北澤義之著『アラブ連盟』」『イスラーム世界研究』9 [344–346頁]
- 2016 「IS問題を考える——「文明」対「野蛮」の図式を超えて」『市民の意見』154 [10–13頁]
- 2016 「大国エジプトの変節——宗教, 帝国主義, 民族主義, そして新しい時代へ」白杵陽・鈴木啓之編『パレスチナを知るための60章』明石書店 [232–236頁]
- 2016 「中東の悲劇に対して市民ができること」長沢栄治・栗田禎子(共編)『中東と日本の針路——「安保法制」がもたらすもの』大月書店 [182–193頁]
- 2016 「はじめに——中東と日本」後藤晃・長沢栄治編『現代中東を読み解く アラブ革命後の政治秩序とイスラーム』明石書店 [3–10頁]
- 2016 「中東近代史のもう一つの見方——アラブ革命の5年間を振り返って」後藤晃・長沢栄治編『現代中東を読み解く アラブ革命後の政治秩序とイスラーム』明石書店 [18–50頁]
- 2016 「エジプト——革命の5年間」後藤晃・長沢栄治(共編)『現代中東を読み解く アラブ革命後の政治秩序とイスラーム』明石書店第II部第1章 [100–120頁]
- 2016 「あるスビアの友人との別れ」後藤晃・長沢栄治編『現代中東を読み解く アラブ革命後の政治秩序とイスラーム』明石書店 [121–123頁]
- 2016 「アラブ革命を振り返る——背景・展開・遺産」『日本の科学者』51–11 [6–11頁]
- 2017 “Communist Movement in the Era of Arab Nationalist Revolutions: The Martyrdom of an Arab Communist, Farajullah El Helou,” in Yoshiko KURITA ed., *Collected Essays on the Role of Marxism in the Arab World and the Other Related Essays*. (日本学術振興会科学研究費基盤研究(B)「アラブ・イスラーム世界におけるマルクス主義の展開——運動・展開・歴史像をめぐって」報告書) [pp. 49–69]
- 2017 「中東と日本の平和主義を考える——ラフィーク・シャーミーの作品を手がかりにして——」『詩人会議』55–3 [67–75頁]
- 2018 「アラブ詩における非暴力主義の伝統——中東と日本の平和主義を考える(続き)」『詩人会議』56–2 [84–88頁]

2018 「書評 Kato, Hiroshi and Erina Iwasaki. 2016. *Rashda: The Birth and Growth of an Egyptian Oasis Village*」『社会経済史学』84-1〔131-34頁〕